

第7回渋沢栄一ビジネス大賞

テクノロジー部門応募申込書

1 会社概要

ふりがな 会社名	〇〇〇〇かぶしきがいしゃ 〇〇〇〇株式会社			
代表者	役職	代表取締役	ふりがな 氏名	さいたま たろう 埼玉 太郎 (印)
本社 所在地	〒 330-**** 埼玉県〇〇市〇〇1-2-**			
担当者 連絡先	住所	〒330-**** 埼玉県〇〇市〇〇1-2-**		
	部署名・役職名	〇〇部・部長		
	ふりがな 氏名	おおみや じろう 大宮 次郎		
	電話	048-830-**** (内線) ****		
	FAX	048-830-****		
	メール	****@*****		
URL	http://www.*****.co.jp			
従業員	〇〇人	資本金	〇, 〇〇〇千円	
業種	製造業	主要商品	プラスチック〇〇〇〇	
創業年月日	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日			

2 応募技術・製品について

応募技術・製品の開発テーマ (15字程度)	〇〇を応用した△△△△技術の開発
応募技術・製品の特許等名称	(産業財産権を有する場合に記入) 〇〇の〇〇方法及び〇〇装置
販売又は提供 (予定)年月日	平成 △△ 年 △△ 月 △△ 日
開発期間	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 ~ 平成 △△ 年 △△ 月 △△ 日

(1) 応募技術・製品の概要 (用途、利用分野、工夫した点、従来技術・製品の問題点など主な特長を分かりやすく簡潔に記載してください。)

(文例)

・当社の〇〇製造装置「□□□□□」は、△△△△を可能にした初めての装置であり、以下のような特長がある。

.....
.....

・●●分野における◆◆向けの□□を開発した。□□は〜〜〜という課題に対して開発され、■■、◇◇という点に特徴を有し、〜の解決に大きく寄与する。この開発により.....

留意事項

応募いただく技術・製品の概要を、できるだけ分かりやすく記入してください。比較対象となる技術・製品について説明し、その上で応募技術・製品について工夫した点や優れている点を記入してください。写真や図を用いて説明していただいてもかまいません。

(2) 開発目的、背景、経緯 (開発の目的、開発に至った経緯やそのねらいを記載してください。)

(文例)

【目的】

・本開発の第一の目的は、〇〇の△△など、利便性の追求である。また、第二の目的として、□□の軽量化である。

【経緯】

・従来品である▲▲は、◇◇である一方、■ ■であり〇〇が求められていた。

【ねらい】

・〇〇の製品化により、これまで解決が困難であった△△や□□といった課題解決を図ることが可能となる。

(3) 従来技術・製品との相違点・新規性 (従来技術・製品からの優位性や技術水準が高いと思われる点などを記載してください。)

(文例)

・〇〇から△△へのシフトは、■ ■業界における●●から▲▲へのシフトと近く、画期的である。

・これまでの製品は、◇◇を〇〇できるものがなかった。そこで、◇◇の▲▲部分について、□□することを可能にし、かつ■ ■した〇〇を開発した。

(4) 市場性 (品質(確認できるデータがある場合は添付してください)や用途、主な市場、市場規模など研究成果とあわせて記入してください。第三者機関による検査結果表があれば添付してください。)

(文例)

・本製品は、〇〇面や△△面で、既存の下記製品と比較して大きく優れている。

	〇〇性	△△性	価格	製品・技術の特徴
当社製品・技術	◎	○	○	〇〇性、△△性ともに他社製品と比較して◇◇、□□と大きく優れている。また、価格面でも低廉である。
A社製品・技術	△	○	×	

・〇〇は、国内で約〇, 〇〇〇台稼働している。△△年で設備更新すると想定すると、〇〇〇台/年の需要が見込まれる。設備の平均単価を□□円とすると、想定される市場規模は〇〇億円と想定される。

(5) 販売実績及び今後の販売計画

ア 過去3年間の販売実績及び今後の販売計画を記入してください。

(単位：千円)

	販売実績			販売計画		
	平成26年度 (年月～年月)	平成27年度 (年月～年月)	平成28年度 (年月～年月)	平成29年度 (年月～年月)	平成30年度 (年月～年月)	平成31年度 (年月～年月)
会社の売上高						
経常利益						
応募技術・製品の提供数						
応募技術・製品の売上高						

イ 今後の販売計画について、その設定根拠や販売方法について記入してください。

(文例)

・〇〇年〇〇月までに〇〇台の販売実績があり、年々売り上げを伸ばしている。今後△△の需要が見込まれ、今年度以降□□台の販売を見込んでいる。

留意事項：応募いただく技術・製品の産業財産に関する取組について、できるだけ詳しく記載してください。

3 産業財産権について

応募技術・製品に関する特許等（申請中を含む）がある場合、または他者権利を利用している場合は、その詳細（番号（出願、公開、登録）、日付、名称、出願者等）を記入してください。

出願/公開/登録番号	出願/公開/登録年月日	権利化状況 ※〇をつけてください	【特許・実用新案】 発明・考案の名称 【意匠】物品名 【商標】指定商品・指定役務 並びに商品・役務の区分	出願者名	権利利用 ※〇をつけてください
特許第 57*****号	平成26年 〇月〇日	権利化	〇〇の〇〇方法及び 〇〇装置	埼玉 太郎	自社権利 (単独出願)
		【審査請求】 請求 ・ 未請求			共同出願 (持分 %) 他者権利利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)
		権利化			自社権利 (単独出願)
		【審査請求】 請求 ・ 未請求			共同出願 (持分 %) 他者権利利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)
		権利化			自社権利 (単独出願)
		【審査請求】 請求 ・ 未請求			共同出願 (持分 %) 他者権利利用 (専用実施権) ・ (通常実施権)

4 受賞歴

他機関での受賞歴がありましたら、記入してください。

応募技術・製品に関する 受賞歴	(文例) ・平成〇年度 第△回「埼玉〇〇〇表彰」奨励賞 〇〇クラブ
<参考> その他の技術・ 製品に関する受賞歴	

5 公的認定や補助金等

県や他機関から受けた公的認定や補助金等について、機関名及び時期、金額等記入してください。

(文例)

- ・名称：平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金
- 機関名：経済産業省
- 時期：平成27年8月〇日公布決定
- 金額：1,000万円

6 応募資格に関する確認事項

該当する方に○をつけてください。

番号	項目	回答	
1	今回の応募技術・製品は、平成29年9月8日現在、国内で販売または提供されており、かつ、販売・提供後概ね5年以内のものですか。	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
2	貴社は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に規定する中小企業者ですか。	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
3	今回の応募技術・製品は、過去に <u>国または自治体の賞金付きの類似の表彰</u> を受けていますか。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
4	今回の応募技術・製品は、その開発に係る発明又は研究において係争中ですか。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
5	役員の中に、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員はいますか。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
6	平成27年4月1日以降に法令に違反した事実がありますか。また、行政機関の処分を平成29年4月1日現在受けている事実がありますか。	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

応募申込書記入上の注意点

1 会社概要

本社が県外の場合には、県内の事業所等についても所在地欄に記入してください。

2 応募技術・製品について

- ・技術・製品のセールスポイントと特許等の名称を記入してください。
- ・直近3期分の財務状況及び今後の販売計画について、千円単位で記入してください。ただし、3期経過していない場合は、事業開始以後の決算で結構です。

3 産業財産権について

評価対象となりますので、正確に記入してください。

4 受賞歴について

応募技術・製品について、受賞歴がありましたら必ず記入してください。

賞の名称、主催者名、受賞年月日等記入してください。受賞内容によっては、応募対象外となる場合があります。

5 公的認定や補助金等

県や他機関から受けた公的認定や、助成金等がありましたら、記入してください。

6 応募資格に関する確認事項

各項目について、「はい」または「いいえ」に○をつけ、回答してください。

*記入スペースが足りない場合は枠の大きさを変更してください。